

2022

January

令和四年

AP

100 Years and Beyond

COMMUNICATION

株式会社アピックス 社外報



特集

新年のご挨拶



「100 Years and Beyond」 102 年目の決意

代表取締役社長 河村 武敏



新年あけましておめでとうございます。

平素は弊社のサービスをご愛顧いただき、心より感謝申し上げます。

さて昨年を振り返りますと、1月～9月までのほとんどの期間を第4波・第5波による緊急事態宣言下という、2020年に引き続き今まで経験したことのないコロナウイルスとの戦いの一年でした。お客様の出社状況に対応しテレワークを交えた柔軟なワークスタイルの実践、コロナウイルス感染ガイドラインに基づいた出社対応、ワクチン接種奨励に伴う社員への柔軟な勤怠対応、オンライン非接触ミーティングの励行、オンライン展示会での情報収集など、日々情報収集と判断に明け暮れる目まぐるしい一年でした。

一方で政府の方は、「デジタル社会形成基本法案」の本丸である「デジタル庁」が、内閣府に昨年の9月1日に発足しました。ミッション・ビジョンとして「誰一人取り残さない、人に優しいデジタル化を」、そして「未来志向のDXを大胆に推進し、デジタル時代の官民のインフラを今後5年で一気に揃いに作り上げることを目指します」と宣言されています。同時に我々のビジネスの周辺では、押印・書面の交付等を求める手続きの見直し（48法律の改正）も同時に施行され、ハンコレスでの電子契約、電磁的方法による書面作成を原本とする業種別規制緩和の実施など、これまでのビジネスルールを根本的に変える時代が本格的に到来したと感じています。

当社は100年の歴史の中で、近年は「モノ」の提供から「サービス」の提供へと変化していく過程で、数年前から事業ドメインを「BPO サービス」と定義してきました。おかげさまでコロナ禍においてもテレワーク・在宅

勤務などワークスタイルに柔軟に対応しつつ、お客様のご協力を得ながらサービスを止めることなく事業を継続することができました。また同時に BPO サービスの品質維持・向上を目的に、昨年は全社で「ISO9001」の取得に挑戦し、おかげさまで昨年9月に「ISO27001」とともに全社で統合認証を取得することができました。

102年目の今年もデジタル化・DX をキーワードにお客様のイノベーションに寄り添い、BPO サービスにさらに磨きをかけ、お客様から必要とされる運用サービスを展開してまいります。そして「100 Years and Beyond」（100年、そしてその先へ）をキャッチに掲げ、お客様ならびに社会の発展に寄与してまいります。今年もどうぞご指導ご鞭撻のほど、伏してよろしくお願い申し上げます。



83才のジャズピアニスト
Charlie 松田さんとともに





常務取締役
営業本部 管掌
川野 陽一

「ツキを呼び込む法則」と「3C」の実践で 売上と利益目標を必達する！

明けましておめでとうございます。本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。
私が読んだ本で「ツキを呼び込む法則」という記憶に残っている本があります。世の中でツキのある人、ラッキーな人とと言われる人がいますが、その人達に共通しているのが「常に前向き」で「明るい人」且つ「努力する（勉強する）」人であるということでした。営業力強化でお世話になった先生からは、3Cの実践という事を教わり妙に納得したことを記憶しています。

3Cとは Challenge（挑戦する）/Chance（機会・好機）/Change（変化する）で、チャレンジしないとチャンスは来ないし、チャンスを得る為には現状からのチェンジも必要であるという事でした。あらためて、「ツキを呼び込む法則」と「3C」の実践で、今期も売上と利益目標の必達に邁進して参ります。



取締役 営業本部長
森田 一之

「2022年のスタートに」

世の中も昨年末から少しづつですが、賑やかさが戻るなか新しい年を迎えました。
旧年はうち9か月が緊急事態宣言下のなか、お客様の多くが環境変化への対応をすすめられ、紙文書の電子化をはじめ文書情報の管理と運用の最適化に向けたご相談からご依頼と、リモートワークが定着化されるなかで、従来お客様が社内で作成していたドキュメントのご依頼を多く頂きました。

一方、お客様との接点は Web が主流になり、リアルで御面談する機会は減少したなかで、あらためて人と人とのつながりやコミュニケーションの大切さを実感いたしました。
まだまだ変化の激しい環境下で多様化されるお客様の課題やご要望に、あらためて基本を忘れずスタッフ一人一人が「誠実」に「誠心誠意」受けとめ、ご期待に結果でお応えできるよう全員が取り組んでまいります。



執行役員
カスタマーリレーション部
プロダクションマネジメント部
経営企画室 管掌
重松 えみり

「Sustainable Development Goals」とは？

発展は幸福を阻害するものであってはいけません。発展は人類に幸福をもたらすものでなくてはなりません。愛情や人間関係、子どもを育てること、友達を持つこと、そして必要最低限のものを持つこと。これらをもたらすべきなのです。（ホセ・ムヒカ 第40代ウルグアイ大統領 2012年「リオ +20 国連持続可能な開発会議」スピーチより）

今から20年前のスピーチですが、今こそ深く突き刺さるメッセージではないでしょうか。企業人である限り発展は無視できませんが、何のための“発展”なのかを今一度考え事業活動を行う事が使命でもあると思っています。

一朝一夕に叶う事ではありませんが、100年後も「幸せ」な未来を願い新たな一年を社員全員で歩んで参ります。本年もよろしくお願いいたします。



新年明けまして おめでとうございます！



プロダクションマネジメント部
部長 増田 良輔



昨年 ISO9001 の認証を取得しました。現状を把握し、改善目標を立て歩き出したところです。現場のあらゆる事象は全部門の仕事が相互に関連して起きています。今はまだ品質問題が起きてても生産現場だけの責任になりがちですが、これからは上流部門の責任も大きいという認識を全員が持たなければなりません。そのような実態を受け止め、現状把握、改善目標、課題解決のPDCAを回し、総合力のレベルアップができるように取り組んで参ります。本年も変わらぬご愛顧のほど、お願い申し上げます。

モチベーション



経営企画室
室長 平岩 伸一



2021年は「新しい生活様式」が当たり前になり、働き方の変化が急速に進んだ一年でした。その中で開催された「東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会」は皆さまどう感じましたでしょうか。単純に大会が一年延期になったのではなく、モチベーションの維持が困難な環境下で選手たちが努力を続けてきた姿に非常に感動しました。また、選手たちからモチベーションの大切さを学びました。新型コロナウイルスの収束が見えない中で、モチベーションを維持するのは簡単ではありませんが、会社が常にベストコンディションになるよう、社員一人一人に寄り添っていきたいと思います。本年も一層飛躍できるよう一同努めてまいりますので、よろしくお願い申し上げます。

コミュニケーションの 多い年に！



カスタマーリレーション部
部長 岡本 匡史



新年明けましておめでとうございます。カスタマーリレーション部 岡本です。昨年もあつという間でしたが、引き続きコロナ禍にあり変化から定着の年であったような気がします。働き方が変遷していく中で、意識も体もようやく馴染んできた実感があります。しかし社内外のコミュニケーションの方法がすっかり変わり、直接コミュニケーションが取れない弊害もあるのも事実です。今年は少しでもコミュニケーションの機会が増えることを願うばかりです。そして皆様の元気を享受できる年したいと思います。本年もどうぞ宜しくお願い致します。



2021年9月20日に QMS (ISO9001) と ISMS (ISO27001) の統合認証を取得しました



QMS は顧客満足度向上を目的として業務品質全体を改善して行くマネジメントシステム（以下 MS）であり、ISMS は情報セキュリティレベルの維持改善を目的として事業プロセスの中に組み込む MS です。どちらも継続的な企業活動のために不可欠な MS であり、両者を統合することで、より強固な MS が構築できます。現在、当社は QMS による業務改善に努めつつ、QMS と ISMS のさらなる統合度の向上を目指しています。これにより、情報セキュリティレベルの高い QMS の実現、そして、継続的にお客様の信頼に応えられる製品・サービスの提供に努力して参ります。

お詫び

11月にお配りしました「2022 卓上デザインカレンダー」に関しまして、12月の日付に一箇所誤りがございました。ご連絡をいただければ、正規品と交換させていただきますので、お手数ですが、営業担当までご連絡をくださいませ。宜しくお願い申し上げます。

株式会社 アピックス

本 社 〒541-0059 大阪市中央区博労町1-2-2

TEL:06-6271-7291 FAX:06-6271-7296

東京支店 〒103-0004 東京都中央区東日本橋3-4-14 OZAWAビル3F E-mail info@apix.co.jp

TEL:03-5879-7291 FAX:03-5879-7296

URL <http://www.apix.co.jp>